

## (公社) 日本臨床工学技士会 平成 25 年度第 3 回理事会 議事録

1. 開催日時：平成 26 年 1 月 25 日（土）15:00～16:00
2. 開催場所：(公社) 日本臨床工学技士会 事務所 2F 会議室（文京区本郷 3 丁目 4 - 3）
3. 定足数：会長、副会長、専務理事、常任理事、理事の計 24 名
4. 出席者：川崎忠行、本間崇、真下泰、那須野修一、大石義英、金子岩和、柴田昌典、吉田秀人、森脇藤代美、井上勝哉、野村知由樹、高橋秀暢、原田俊和、肥田泰幸、水口潤、北野正剛（理事 16 名）  
鈴木一郎（第 24 回日本臨床工学会 学会長）  
西村和典、大木善弘（監事 2 名）  
松阪淳（事務局長）  
委任出席：井福武志、高橋純子、渡辺敏、松本謙一、杉薫、田林暁一、安本和正、瀬上清貴（理事 8 名）  
出席者総数：20 名
5. 議長：川崎忠行 司会進行：本間崇 書記：野村知由樹
6. 議事録署名人：川崎忠行・西村和典・大木善弘
7. 議案書の追記・修正

### <追記事項>

- ・ 1 ページ目 公 1 3) (1) 不整脈治療専門臨床工学認定の受験者数 202 名  
(2) 血液浄化専門臨床工学認定の受験者数 153 名  
(3) 呼吸治療専門臨床工学検定の受験者数 97 名  
(4) 高気圧酸素治療専門臨床工学認定の受験者数 13 名
- ・ 2 ページ目 公 1 5) (5) 新卒者臨床工学技士講習会の参加人数 84 名

### <修正事項>

- ・ 4 ページ目 公 2 3) (3) 日本透析医会→日本透析医学会
- ・ 7 ページ目 他 1 4) 平成 25 月→平成 25 年 3 月
- ・ 14 ページ目 1. -2) 「平成 25 年度収支状況の件」（12 月 27 日→12 月 31 日）
- ・ 17 ページ目 公 2 4) 医療の質・安全学会（医療安全全国共同行動）  
→医療安全全国共同行動（医療の質・安全学会）
- ・ 17 ページ目 公 3 4) (3) 行程士会→工程士会

## 8. 議題および議事内容

### 議題 1. 「平成 25 年度事業経過および収支進捗状況」の件（報告事項）

#### 1) 平成 25 年度事業経過状況

司会進行の本間副会長より、議案書に沿って説明がなされた。

追加報告として公 2 3) 医療機器の安全に関する普及啓発 において「京都大学で起きたフィルター取り違いによる医療事故」に対応する、「医療機器の取り間違え事故に対する対応を検討する会」に本間副会長が出席し、フィルターの D ポートの変更について、各関連団体のコンセンサスを得たうえで、3 月 14 日に PMDA にて内容説明する予定であることが報告された

#### 2) 平成 25 年度収支状況

別添資料1「決算報告書」第13期 平成25年4月1日～平成25年12月31日  
に沿って金子財務担当理事より報告がなされた。また、「決算報告書」4ページの“入会金収入”が0となっているのは、入会金収入が年会費収入の方に含まれているからである。と追加説明がなされた。

#### 議題2. 「平成26年度事業計画および収支予算案」の件（報告および承認事項）

##### 1) 平成26年度事業計画

司会進行の本間副会長より、議案書に沿って説明がなされ承認された。  
また、公1における新卒者臨床工学技士講習会の名称を実態に合わせ「卒後臨床工学技士基礎セミナー」に名称変更との提案があり承認された。  
本セミナー名称変更と公1事業である国際活動に関する事業における「WHOの医療機器関連会議への出席」ならびに他2事業の「パーソナルローン」については、新規事業として申請が必要である旨、那須野専務理事より発言がなされた。

##### 2) 平成26年度収支予算案

別添資料「平成26年度正味財産増減予算書（案）」に沿って金子財務担当理事より報告がなされ承認された。  
那須野専務理事より、「平成26年度正味財産増減予算書」の補足説明資料として従来の事業毎の収支予算案を議案書に提示した旨追加説明がなされた。

#### 議題3. 「第24回日本臨床工学会」および「平成26年度公益社団法人日本臨床工学技士会総会」の件（報告事項）

- 1) 鈴木学会長より提示資料をもとに現在の進行状況につき説明がなされた。
  - (1) 演題数はオーラル242題、ポスター202題、BPA71題、合計515題となった。予想を上回る演題数となったため、BPAを5月19日（金）の午後 to 実施することとした。
  - (2) ポスターセッションは4会場とし、ハイブリッドポスターセッションの形式とする。
  - (3) 予算・企業協賛関係については、順調であり機器展示は42社から5社増える予定である。予算は6千万円規模になる見通しである。
  - (4) 宿泊予約について、学会HPよりの予約を促すようお願いしたい旨発言がなされた。那須野専務理事より「たより」123号に宿泊案内について記載した旨報告された。
  - (5) 「震災復興支援 防災学習ツアー」は情報公開中であり、1月下旬から2月上旬から申し込み開始する。

#### 議題4. 公益社団法人日本臨床工学技士会諸規定精査の件（報告および承認事項）

別冊資料4<規程・内規類改訂案>に沿って那須野専務理事より説明がなされ一部文言修正を行い承認され規程・規則については総会へ提出することとした。

<承認された項目>

- ・社員総会運営規程（一部文言修正）
- ・会員規定
- ・就業規則（一部文言修正）
- ・会員規程に関わる内規（一部文言修正）

- ・賛助会員への支援に関する内規
- <破棄を承認された項目>
- ・「事務処理規則」に関わる内規
  - ・会員規程に関わる内規
  - ・学術助成事業に関する内規

#### 議題5. その他

##### 1) 「第9回全国臨床工学技士会意見交換会」に関わる件

松阪事務局長より、意見交換会の討論議題について公募期限内に、2 都道府県臨床工学技士会から別紙に示す議題の提出がなされた旨報告された。審議の結果内容が議題として不適切との判断により別途理事から議題を提案することとした。

##### 2) 会員増への取り組み（組織委員会）

野村理事より、会員増への取り組みとして、日臨工オリジナルキャラクタを作成する活動と、ノンテクニカルスキル講習会の企画について発言がなされた。

オリジナルキャラクタについては、使用目的と使用方法を明確にし次回の理事会で審議することとなった。また、ノンテクニカルスキル講習会については、学術部と連携し具体案を検討することとなった。

##### 3) 平成25年度進入学等会員の動向

松阪事務局長より議案書により会員動向につき報告された。

##### 4) 松阪事務局長の定年について

本間副会長より、松阪事務局長が2月10日で定年を迎える旨報告があった。

それに伴い、松阪事務局長の任期を一年間延長する提案がされ、承認された。

##### 5) 金子常任理事より、「チーム医療推進協議会」の報告が、別紙資料を提示してなされた。

その後議長である川崎会長の平成25年度公益社団法人日本臨床工学技士会第3回理事会の終会が述べられ閉会した。

以上

平成26年1月25日

議事録署名人

代表理事： 川崎 忠行



監 事： 西村 和典



監 事： 大木 善弘



(記名 押印)